

2018 三多摩憲法のつどい

元自衛官が語る、 安倍9条『壊憲』のワナ



講師

い づつ たか お
井筒 高雄 氏 (元陸上自衛隊レンジャー隊員)

2018 5/25(金) 午後 6:00 開場 午後 6:30 開演

立川市女性総合センター
アイム1Fホール **入場無料**



M E S S A G E

2017年5月3日の憲法記念日、安倍首相は突如「2020年を新憲法施行の年にしたい」と述べ、憲法9条に自衛隊の存在を明記する旨の意向を表明しました。

安倍政権は、この「改憲」について、今の憲法9条を補うだけで、何も変わらないと繰り返し強調しています。しかし、それは本当でしょうか。安倍政権は、これまでも、政府解釈の変更によって集団的自衛権を認める「解釈改憲」を行っただけでなく、安全保障関連法を強行成立させるなどしてきました。私たちは、そんな安倍政権による9条「改憲」に強い危機感を禁じ得ません。

今年の「三多摩憲法のつどい」では、元陸上自衛隊員の井筒高雄氏を講師に招き、安倍政権による9条「改憲」のねらいと危険性、そして憲法9条の大切さについて、実体験も踏まえながらリアルにお話しいただきます。

私たちは、戦争する国へと突き進むのか、平和国家であり続けるのか、この国の在り方について選択を迫られています。そんな今だからこそ、憲法9条の大切さ、それを変えてしまうことの恐ろしさについて、一緒に考えてみませんか。

お知らせ 開演後、すぐに井筒氏のご講演となります。

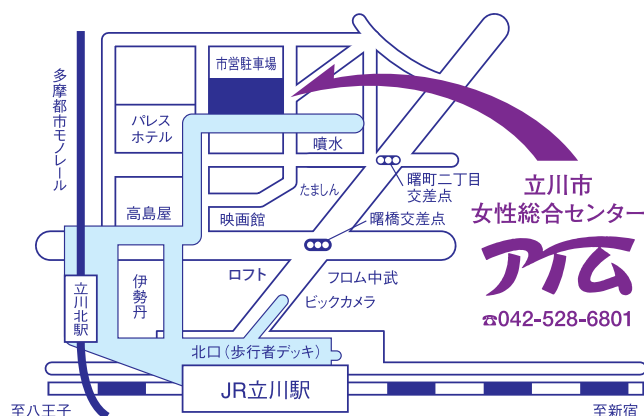
講師

井筒 高雄氏

元陸上自衛隊レンジャー隊員、ベテランズ・フォー・ピース・ジャパン(VFPJ) 代表。

1969年生まれ。東京都青梅市出身。88年陸上自衛隊に入隊、91年レンジャー隊員。

PKO法を機に93年依願退職。97年に大阪経済法科大学卒業、兵庫県加古川市議を経て、元自衛官の立場から戦争のリアル、コスト、利権や帰還兵のPTSDについて、全国で講演活動をおこなう。著書に『自衛隊は みんなを愛してる』(青志社)、共著に『安保法制の落とし穴』(ビジネス社)など。



〈連絡先〉

2018三多摩憲法のつどい実行委員会

〒190-0014 立川市緑町4-4 立川北口薬局ビル4階 三多摩法律事務所内 Tel.042-524-4321 Fax.042-524-4093